

備前市事務事業評価表

事業の概要
事務事業名: 弱視等治療用眼鏡等購入費助成事業
コード: 02-01-01-18
事業開始年度: 平成19年度-
大項目: 基本目標: 健康でやさしさあふれるまちづくり

事業の実施
対象: 9歳に達する日から満15歳に達する日までの児童
目的: 児童の弱視又は斜視の治療用眼鏡等の購入に係る費用の一部を助成することにより、児童福祉の向上に資することを目的とする。
行政活動: 眼鏡等の1回あたりの購入金額に10分の7を乗じて得た額を助成する。

事業の実績
実施項目: 助成件数
単位: 件
平成17年度実績: -
平成18年度実績: -
平成19年度実績: 5
事業費: 96
人件費: 135
事業費計: 231
国県支出金: -
受益者負担: -
市一般財源: 231
必要人員: 0.1
結果指標: 助成件数 5
結果指標対前年比 %
活動コスト 96,645
単位当たりコスト 19,329

事業の成果
成果指標名: 医師の診断によるため成果指標は困難
式又は説明:
17年度:
18年度:
19年度: 5
到達目標値: 到達目標年度: 毎年

事業の目的、対象、内容等を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価
目的: 開法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令)
行政活動: 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない
市の関与: 本市が関与しなければならない事業である
コスト: コスト削減の努力をしております、低減余地は大きい
手続: サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない
職場: 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている
目的達成度: 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである
成果向上の可能性: 成果は向上しており今後も向上する見込みである
市民参画度: 事業について積極的に情報提供している

平成20年度の状況
重点化している
前年度と同様に継続している
見直し継続している
事業を縮小している
平成19年度で廃止・完了
説明: 平成19年4月から実施している。
目標値: 結果指標量 5
結果指標量 -

総合評価
備前市では、19年度から実施している事業であり、児童福祉の向上を目指して助成制度を対象者に広く周知することが必要である。
評価区分: C
三角グラフ: 妥当性, 効率性, 有効性

平成21年度以降の方向性
さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)
現状のまま継続する
見直しのうえで継続する
事業の縮小を検討する
休止・廃止を検討する
他の事業と統合を検討する
平成20年度で廃止・完了

平成21年度以降の改善事項
評価の視点: 改善内容: 広報誌等を活用して対象者に制度の周知に努めることが必要である。
改善時期: 毎年
改善により期待される効果: 申請件数の増加